

# ワシントン大学短期留学 帰国報告書

—人生で1番充実した時間—

北海道教育大学函館校 国際地域学科  
地域協働専攻 国際協働グループ  
3年 田畑 弦



パイク・プレイス・マーケットにいた  
ストリートパフォーマー

## 1. 大学について

初日には簡単なマークテストと面接があり、その結果によってクラス分けがされますが、気楽に受けられるような雰囲気になっていたので安心できました。私が参加した時はほとんどが日本人だったため、外国人留学生が少なかったのは少し残念だった反面、英語が苦手な人でも安心して参加できるプログラムだったと思います。ほとんどの人が人見知りをしなかったため、ほぼ全員がすぐ仲良くなれるような人たちでした。私のクラスは英語を話すことに重きを置いた授業で、最初はなかなか自分の言葉で話すことが難しかったものの、少しずつ慣れていき、自分の頭が英語脳（日本語で考えず、英語でパッと返せるようになる）に変わっていくのを実感しました。

これは1人の相手とあるテーマに沿って5分間英語で会話し、それを相手を変えて5回繰り返すという、計25分間英語で話し続けるという授業が3回ほどあったためだと思います。とても大変でしたが自分のためになると思いました。先生は私たちにも理解できるようにはっきりとわかりやすい英語で話してくれるので、授業もしっかり理解した上で受けることができたことがとても良かったと感じました。

最後には、3週間の集大成であるプレゼンテーションの課題があります。3人1組のグループを作り、私のグループは「Free time activity」について実際にキャンパス内の学生に聞き取り調査し、その結果を発表するというものでした。写真を使ったりパワーポイントを使ったりしているグループもあり、それぞれが自分の英語を駆使して発表していてとても勉強になりました。



Red Square 中にある噴水

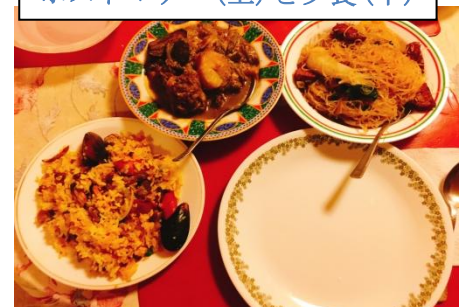
## 2. シアトルでの生活・ホームステイ

私はフィリピン人のホストマザーと彼女のいとこが2人で暮らしている家にホームステイさせていただきました。最初は訛り等で何を言っているかわからないこともありましたが、ネイティブではなかったため、マザーの話していることは半分以上理解することができました。マザーの作る料理はどれもおいしくて、毎晩食べきれないほどの料理を食べるのが大変でした。

どこにも行かずに帰ったのはたったの2回だけで、あとはフィールドトリップがない日や週末には友達と出かけたり、1人で散歩したりして、シアトルの観光地は網羅できたと思います。私は、地球の歩き方を持って行ったので、行きたいところを予めチェックしておいて行くようにしました。



ホストマザー(上)と夕食(下)



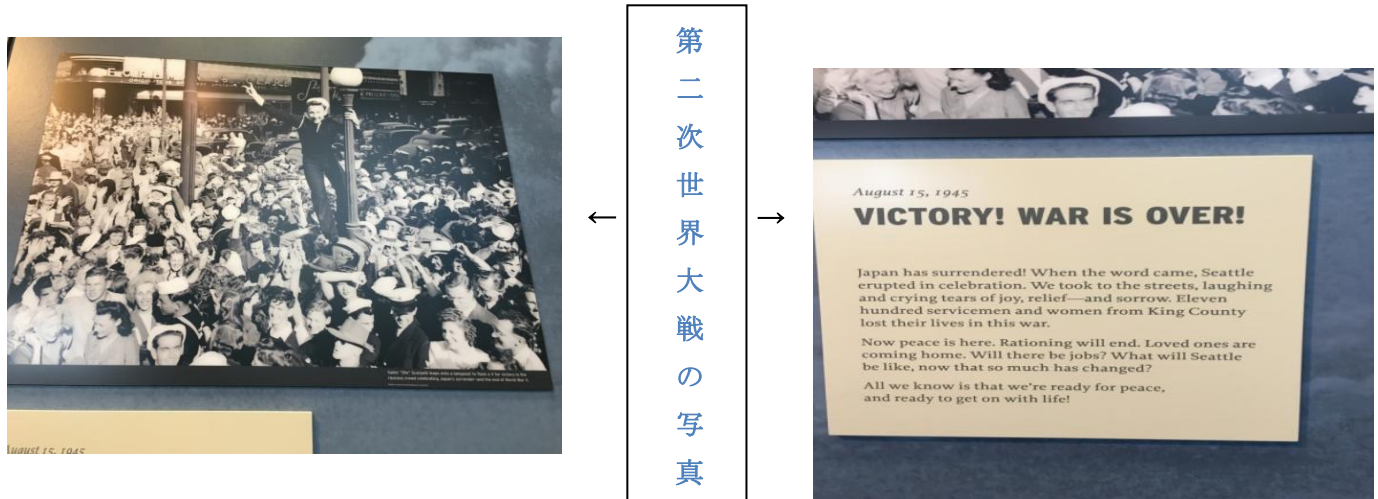
中でも1番楽しかったのが、2週目の週末を使ってカナダのバンクーバーに旅行に行ったことです。バスで行ったので、日本では絶対に経験できない陸路での国境越えを初めて経験しました。遠出をする人はきちんと計画を立てて、前もってホストファミリーに伝えておくとういと思います。

シアトルの人は本当に優しい人ばかりで、ドライバーは必ず歩行者に道を譲ってくれますし、何度質問をしてもわかるまで説明してくれます。日本人には無い心の温かさを感じました。

### 3. フィールドトリップ

毎週火・木曜日は放課後に任意参加のフィールドトリップがあり、私は6回すべて参加しました。このフィールドトリップのメリットは、シアトルの主な観光地を回れることや、別のクラスの人と仲良くなるチャンスがあるということです。フィールドトリップでは、Pike Place Market という市場に行ったり、美術館に行ったり、キャンパス内にある HUB という娯楽施設でボーリングをしたりしました。どれも楽しくて、そのたびに友達が増えるのが何よりの喜びでした。

私が驚いたことの1つは、MOHAI という博物館に行って写真のような第二次世界大戦に関する資料を見たことです。終戦が告げられたときのアメリカ人は喜びに満ち溢れていました。もちろんアメリカは戦勝国ということもあるのだと思いますが、日本とアメリカでこんなにも戦争に関して違うのかと驚きを隠せませんでした。



### 4. 最後に

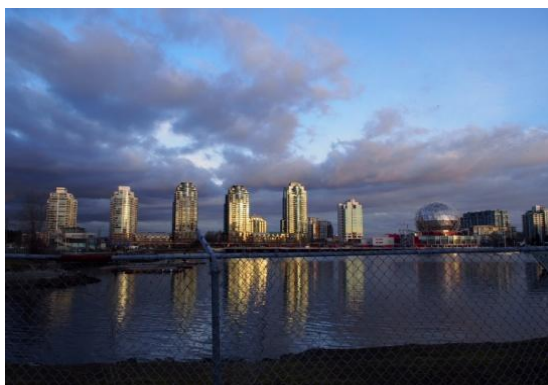
私は2年前に大学のスタディーツアーというプログラムに参加し、2週間ニューヨークとワシントンに行きました。そのときは学生10人と教員2人の集団行動だったため、今度は1人で留学してみたいと思っていました。また、私は英語教員を目指しているので、今回この短期留学を決意しました。たった3週間で英語力が向上するということはありませんが、アメリカ人と接したり、アメリカの文化について学んだりして、たくさんの刺激を受けました。とても密の濃い時間だったので、私にとっては人生で1番充実した時間を過ごすことができました。

これからSTEPに参加する人には、はっきりとした目的をもって留学することをお勧めします。自分がどういう気持ちで留学に臨むか、それだけで2倍にも3倍にも充実した留学にできると思います。ほかには、YESかNOか自分の意見をはっきり言うことです。日本人はなんでも「はい」と言ってしまうがちですが、アメリカ人はそれを嫌います。嫌なら嫌だ、わからないならわからないと、しっかり意思表示することが大切です。

あとは1度だけ、マザーがご高齢で携帯を持っていないということもあり、帰りが遅くなるのを連絡できずに心配をかけてしまったことがありました。私は無料Wi-Fiやホームステイ先のWi-Fiだけしか携帯が使えなかったもので、とても不便でした。ですので、ポケットWi-Fiを持っていくとういと思います。

私がこの留学を通して感じたことは、多少文法が違っていても、最悪単語だけを並べてもコミュニケーションは取れるということです。留学期間中にたくさんの英語を話し、多くの人と触れ合ったことで、1人でい

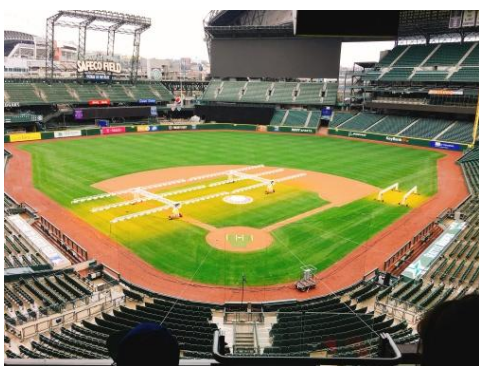
る時でも道行く人に声をかけて自分の聞きたいことを尋ねられるようになりました。英語で会話できることの楽しさを肌で感じることができました。そして、留学をすれば人間的に大きく成長できると思いますし、あなたにとって必ず役に立つ経験になる、ということをお伝えたいです。



カメラで撮ったバンクーバーの海



バンクーバー到着時の集合写真



VIP 席からのセーフコフィールド  
(シアトル・マリナーズ球場)



ボーイング工場



バンクーバーのキャピラノ吊り橋



最終日のセレモニーにて  
クラスのみんなと先生